



Y'S MEN'S CLUB

神戸学園都市

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA



2012年6月(通巻221号)

< 主題 >

- ・神戸学園都市クラブ会長: 杉本隆人「あなたとともに、前進しよう」“Let's move forward with you”
- ・国際会長: Finn A. Pederen “Audere est Facere-To dare is to do” 「とにかくやろう、成せば成る」
- ・アジア地域会長: Wichain Boonmapajorn Byung-Koo “Audere est Facere-To dare is to do”
- ・西日本区理事: 浅岡徹夫「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」“Contribute to the Community through Active Services with you”
- ・六甲部長: 森 紘一「伝統を守りつつ、若返りを図ろう! もっと楽しく、もっと活発に」

2012年6月 評価・計画強調月間

< 目標はどこまで? >

奉仕活動が行えたか? 会員増強は? 評価と反省を次に繋げよう>

6月第1例会

1. とき: 6月21日(木) 19:00~20:00
2. ところ: 西神戸 YMCA1F チャペル
3. 例会
  - (1) 開会点鐘
  - (2) ワイズソング斉唱
  - (3) 今月の聖句朗読
  - (4) 月誕生者お祝
  - (5) 今期の評価と反省  
会長慰労会(しゃらんべにて)

今月の聖句

いと高きところにホサナ。  
 ダビデの子にホサナ。  
 主の名によって来られる方に、祝福があるように。  
 いと高きところにホサナ。

(マタイ21・9)

(4頁を参照下さい)

6月誕生日おめでとう

- ・合田洋子 メン(6/19)
- ・丹家裕子メネット(6/7)

5月の出席状況

- ・在籍者 18名
- ・同出席者 15名
- ・同出席率 83.3%
- ・メネット 2名
- ・ビジター 3名
- ・ゲスト 10名
- ・出席者合計 30名

5月ファンド成績

- ・ニコニコ 16,080円
- ・CS(年賀切手) 27,000円
- ・TOF(断食) 7,000円
- ・FF(家庭の断食) 10,000円
- ・BF(古切手) 15,000円
- ・EF/JWF 0円
- ・Yサ・ASF 27,000円

[役員] 会長: 杉本隆人、直前会長: 森 紘一、副会長・書記: 佐伯一丸、会計: 中村 剛、連絡主事: 西田 勉

[委員] 地域奉仕・環境: 榎林 平、安部 宏、 Yサ: 藤井久子、宗利富士子、 交流: 大津善旦、野呂 隆

EMC: 丹家元陽、西田 勉、中村 剛、 ブリテン・広報: 佐伯一丸、藤井久子、合田洋子、メネット: 杉本裕子  
ファンド: 中尾英輔、阿部信太郎

[六甲部役員] 部長: 森 紘一、書記: 阪本伸彦、会計: 舘忠之

[西日本区役員] LD委員長・クリスチャニティ特別委員: 藤井久子

## < 5 月第 1 例会報告 >

- ・日時：17 日（木）19:00~21:00
- ・場所：西神戸 YMCA 1F チャペル
- ・出席者：阿部、合田、佐伯、阪本、杉本、館、中尾、中村、西田、藤井、森（メネット）阿部、合田
- ・ビジター：福田主査（宝塚ク）、山田主査（神戸ポ）丹羽和子さん（神戸ポ）
- ・ゲスト：菅瑞希さん、幸岡加代子さん、フルートアンダンテの佐藤まみさん他 7 名

### 1. ワイズ儀式

- (1) 開会点鐘 (2) ワイズソング斉唱
- (3) 今月の聖句朗読

### 2. 第 29 回タイワークキャンプ報告（菅さん）

- ・日程：2012 年 3 月 10 日（土）~3 月 23 日（金）
- ・訪問地：(タイ北部の農村) チェンライ県トゥーン郡トゥンニユア村
- ・建設物：校内学習センター（車椅子使用可のトイレ付）(みんな友達の家)
- ・参加者：日本人 7 名、ラオス 2 名、タイ 11 名  
この施設は環境教育や有機農法を学ぶ施設で、無農薬栽培や自然環境を守るための学習をしているところである。

建設のお手伝いと言っても、現地の人が出た方が速くてきれいだと思うような作業であったが、寝食を共にした人たちとの作業や交流が大切となんだなと感じた。

現地の人々の家にホームステイすると、さすがに水質が悪くなく、よく下痢をした。汚水も垂れ流しである。

農村であるため、空気はきれいだと思っていたが、光化学スモッグが発生する毎日であった。

慣れない環境での生活であったが、小学生との交流は楽しかった。日本文化の紹介もした。

都会に出て、ストリートチルドレンを見るのも初めての体験であった。

この貴重な体験を今後のリーダー活動に生かしたいとの抱負を述べられた。

このタイワークキャンプは「神戸 YMCA 国際協力募金」及び「ワイズ六甲部の 8 クラブ」の支援によって実施されている。

### 3. ミニコンサート

“フルートアンダンテ”の 8 名の女性の方皆さんによる演奏。平成 4 年にフルート 4 本とピアノのメンバーでアンサンブルを結成し、グループ名を付けた。

“アンダンテ”とは“ゆっくり歩くような速さで”という意味である。音楽好きの主婦の集まりなので、無理なく、ゆったりと練習や演奏活動を楽しんでいるとの意味を込めている。

今ではメンバーも増え、フルートと（電子）ピアノの他に、サクソ、更にバイオリン、チェロなどの弦楽器、シンバル、ベルなどのパーカッションも加わった。

阪神淡路大震災直後、仮設住宅のふれあいセンターでの演奏活動をきっかけに、ボランティア活動にやりがいを見出し、現在では老人ホームや児童館などが主な活動の舞台になっている。

演奏曲は、別れの曲、荒城の月、タイースノ瞑想曲、ドッヘルコンチェルト、アンダルシア、リヴァイン・ラ・ヴィダ・ロカ、カノン、坂の上の雲、ひまわり。

司会の方の和やかな曲の紹介で、楽しい和やかな雰囲気をつくり、曲も楽器もバラエティーに富んでいた。低音のチェロが入ると音がぐっと引き締まり、重々しく落ち着いた雰囲気になることも分かった。

グループの方針で演奏者の紹介はなしということでした。今後のますますのご活躍を期待します。

尚、楽器や人の輸送に、ワイズの阪本メンと西田メンが協力しました。

## < 6 月事務例会報告 >

日時：2012 年 6 月 7 日（木）19:00 20:30

場所：西神戸 YMCA 1F チャペル

出席：阿倍、大津、佐伯、阪本、杉本、館、丹家、中尾、中村、西田、野呂、藤井、森、山本（メネット）阿倍

### 1. 6 月度 第一例会

日時：2012 年 6 月 21 日（木）19:00 ~ -20:00

内容：クラブ活動年次報告および次期活動方針

打ち上げ会・・・内容等打ち合せ（別紙資料参考）

### 2. DBC 交流報告

5 月 19 日 ~ 20 日 東京武蔵野多摩クラブとの交流会。詳細は 3 頁をご覧ください。

### 3. 西日本区大会

・代議員会の審議事項の賛否：会長一任

・参加者それぞれの予定確認

・Tシャツ販売応援の段取り：神戸 YMCA の 3 名が 500 着を当日現地 9 時搬入。ワイズは販売のみお手伝いする。

### 4. 会員移動報告

・安部氏退会

・榎林氏残留

5. 次年度より新会費制度導入

6. ノルウェーで開催される次期コースコンボーションに、杉本コメントの参加が承認されたとの報告があった。

[ YMCA 報告(西田メン) ]

1. 神戸 YMCA 定期総会開催

・5月30日(水)18:30~神戸 YMCA で開かれた。

約100名が出席。学園ワイズは大津 阪本、館、森、藤井の5名が出席。

・常議員の移動:中尾メンが退任し、藤井メンが任命された。

和やかな雰囲気の中で全ての議事が進行した。

## < 東京武蔵野多摩クラブ (DBC) 訪問 >

阪本 伸彦メン

5月19日(土)午前9時、杉本会長と私の二人は、我がクラブがDBCを結んでいる東京武蔵野多摩クラブと交流するため、杉本会長の愛車にて、東京武蔵野市吉祥寺の笠利(かさり)さんのご自宅へ向かい旅立ちました。

阪神高速、名神高速、東名高速、そして開通したばかりの新東名高速と快調に飛ばし、御殿場ICでいったん高速を降り、中央自動車道を目指し北上しました。

山中湖を右にさらに北上すると、なんと、絶景の富士山が姿を現しました。私は運転中でしたので、左に見える大富士山をちらりとしか見ることが出来ず、「見てみ！見てみ！きれいでー！」とはしゃぐ杉本会長をちょっとだけ恨めしく思っていました。

中央道を東京方面に車を飛ばし、国立府中で中央道を下り、武蔵野多摩クラブの石丸さんと待ち合わせ、石丸さんを載せて武蔵野へ向かいました。ところが、ここから大渋滞に巻き込まれたのですが、それが幸いして石丸さんからリトミックという音楽教育について、その歴史から今現在、東日本大震災被災地の子どもたちのために楽器集めをしていることなど、つづさに聞くことができました。

リトミックとは全身を使って音楽を動きで表現する、特に幼児教育に取り入れられている教育法なのだそうです。石丸さんは、日本で4人しかいないリトミックの国際指導者免許の所持者なのだそうです。うーん、何だかとてもすごい。

予定より1時間ほど遅れた午後7時ようやく笠利さん宅に到着。武蔵野多摩クラブからは、松田会長、笠利さんご夫妻と3人の娘さん、宮内さんご夫妻、石丸さん、

山口さん、伊佐さん、小坂さんをご参加くださいました。交流会は、笠利さんの奥様がピアノ、そして笠利さんと3姉妹の皆さんが金管楽器を奏でての生演奏による、ワイズソングの斉唱で始まりました。武蔵野多摩クラブの皆様がご用意してくださった手料理に舌鼓を打ちつつ、とても和やかな会食となりました。武蔵野多摩クラブの皆様は、お互いをリスペクトし合う、とても仲の良いクラブだなと思いました。

私たち神戸学園都市クラブもメンバーの仲は良いのですが、仲が良すぎて時々、子どもの喧嘩のようになってしまうのが玉に傷ですね。武蔵野多摩クラブの皆様のように大人になりましょう！宴もたけなわでしたが、午後10時頃にお開きとなりました。

私たち二人は、ご近所のマンションに泊めていただきました。もっと武蔵野多摩クラブの皆様と交流したかったのですが、翌日は、神戸 YMCA で開催されるボランティア・リーダー委嘱式に出席するため、朝6時に神戸に向けて出発しました。

こうした楽しい交流が、どうか未永く続きますように。

## < 12/13 年次活動報告 >

神戸学園都市クラブ会長

杉本隆人

会長主題「あなたとともに前進しよう」

“Let's move forward with you”

1. 活動方針

会員増強

IBC/DBC 交流を深める

YMCA 支援とユースの育成

2. 活動結果報告

7月9日 六甲部 第一回 評議会

17日 チャリティースイム フェスティバル

21日 「神戸YMCAの被災地支援活動について」講師 永井 道子氏

8月12日 4クラブ合同納涼会

9月24日 チャリティーローンボール大会  
しあわせの村

10月8日 六甲部 部会 ホストクラブ

16日 西神戸YMCA ワイワイまつり  
バザー・餅つき担当

27日 チャリティーラン準備会及び事務例会

29日 西神戸YMCA 幼稚園バザー応援

11月3日 チャリティーラン

餅つき担当 しあわせの村

- 12月10日 西神戸 YMCA 合同クリスマス例会  
DBC 交流会 東京武蔵野多摩クラブ
- 11日 DBC 交流 神戸市内観光及び昼食、  
午後より国際協力募金活動  
うはらホール
- 19日 新年会 「金龍閣」名谷
- 16日 「日本の住まいを変えるぜよ」  
講師 川崎厚志氏、樹脂サッシ普及活動
- 24日～27日 IBC 台湾高雄ポート及び高雄クラ  
ブ 50周年記念式典に5名参加
- 3月15日 「源平ロマン 鶴越の逆落とし」  
講師 西田 勉メン
- 4月19日 「柔かく、しなやかな身体づくり」  
ピラティス 実技、講話  
講師 清水美也子氏
- 5月17日 ・ミニコンサート  
フルートアンダンテ演奏者(8名)  
・タイワークキャンプ報告(菅瑞希リーダー)
- 5月19日～20日 東京武蔵野多摩ク・DBC 交流会
- 5月20日 リーダー委嘱式参加
- 6月21日 年次報告・評価・反省会  
及び次年度活動方針

## 1. 主題: ワイズは祭りだ!

### 2. 活動方針

- (1) 例会をお祭りのように楽しくする。
- (2) 全員参加のクラブ運営を行う。
- (3) 会員3名以上の増強を計る。
- (4) 地域奉仕活動に取り組む。
- (5) 兄弟クラブとの交流を計る。
- (6) YMCA との協働を計る。

### 3. 活動計画

- (1) 各事業活動で1つ以上の活動目標を掲げ、実行する。
- (2) クラブ広報パンフレットを作成し、クラブの広報、EMC に活用する。
- (3) 西神戸 YMCA ワイワイまつりに参加し、盛り上げる。
- (4) チャリティーランに参加し、盛り上げる。
- (5) 地域奉仕活動の一環として、学園都市地域の祭りに参加する。
- (6) 台湾高雄ポートクラブ(IBC)、東京武蔵野多摩クラブ(DBC)と交流する。

### 4. その他の計画・特記事項

- (1) じゃがいもファンドを行うほか、他のファンド事業を検討する。
- (2) 続けて、「ゆとり作業所」を支援する。

## < 次期会長活動方針・計画 >

神戸学園都市クラブ次期会長  
佐伯一丸

### ～ 今月の聖句 ～

いと高きところにホサナ。 ダビデの子にホサナ。

主の名によって来られる方に、祝福があるように。

いと高きところにホサナ。

(マタイ 21・9)

ホサナとは、「今、救いを」という意味です。確実に応答して下さると思われる時に、助けを求める叫びなのです。救い主が出現しました。それぞれの人生が好転する時が、今到来したのです。自分たちの力ではどうすることもできなかった事柄が、イエスによって成し遂げられるのです。

詩編 118・25 - 26 から、この叫びの起源を読み取ってください。

～ 『イエスとともに祈る365日』 E.H.ピーターソン著、日本キリスト教出版局 ～